

総合討論—東京会場—



乾 「低栄養と人参養栄湯」をテーマにご講演いただいた先生、それぞれのご講演の座長をお勤めいただいた先生とともに総合討論を進めてまいります。

人参養栄湯の継続服用は 睡眠のリズム調節の面からも重要

寺山 松本先生には大腿骨近位部骨折の術後患者さんの身体指標や栄養指標に対する人参養栄湯の臨床効果をご紹介いただきました。人参養栄湯の服薬コンプライアンスの状況や長期の服用など、人参養栄湯の服用に関してコメントをお願いします。

松本 人参養栄湯の継続服用を強く希望される患者さんがいらっしゃる一方で、人参養栄湯の服用に消極的な患者さん、服用を拒否される患者さんがいらっしゃることも事実です。

大腿骨近位部骨折の治療は“立ち上がり”が重要です。つまり、周術期から約4週間にグッと良くして、同時にリハビリテーションも併用することでADLを向上しようという考え方です。その過程において人参養栄湯は非常に重要な役割を担っているのです。立ち上がりからきちんと服用していただくことが大切です。さらに私は、睡眠のリズム調節の面からも人参養栄湯の服用を継続していただきたいと思っています。

クラシエ人参養栄湯は1日2回服用の細粒剤で非常に飲みやすいことから、服用の継続率は比較的高いですし、服用の継続を希望される患者さんが多い印象があります。

フロア 高齢者で睡眠導入剤を服用することで主時計が上手く機能してない方が多くいらっしゃいます。このような患者さんの主時計を修正するために具体的にどのような指導をされているのかをお教えてください。

松本 睡眠リズムの狂いから術後のADLが低下しているような患者さんには、週1回開催のチームカンファレンスで対策を検討しています。具体的には、人参養栄湯の投与、SNRIの眠前投与、起床時にタンパク質含有の栄養ドリンクの投与、の3つをトライしており、効果が得られています。

入院患者さんは定時に起こされ、喫食されます。食事が摂れていない方については、食事形態の見直しや食種の変更を加えながら、詳細に患者さんの状態を診ることが睡眠リズム改善の一歩になると思います。

人参養栄湯の服用は 低活動性せん妄の改善にも影響

加島 谷口先生にご紹介いただいた臨床試験結果では、人参養栄湯による治療介入によって喫食率が向上したことをお示しいただきました。対象の患者さんは栄養状態が不良で4週間以上もNST介入が必要ということで、喫食率も低くフレイルもかなり増悪している方ではないかと思えます。そのような患者さんは、低活動性せん妄が背景にあり、それで食事が摂れないのではないかと想像するのですが、人参養栄湯が低活動性せん妄を改善しているようなご印象はありますか。

谷口 ご指摘のようにせん妄の患者さんは多くいらっしゃいます。せん妄が食べることに邪魔になることもあり、一方で食べることでせん妄が改善することもあります。人参養栄湯の服用でせん妄が改善した方も経験しています。ただ、食べることでせん妄の改善につながったのか、せん妄の改善によって食べることができるようになったのか、どちらが功を奏したのかはわかりません。

フロア 当院でも癌患者さんを対象としたNSTの外来を

総合司会



乾 明夫 先生
フレイル漢方薬理研究会
代表世話人
鹿児島大学大学院
医歯学総合研究科
漢方薬理学講座 特任教授

司会



寺山 靖夫 先生
医療法人社団 健育会
湘南慶育病院
副院長／脳神経センター長



加島 雅之 先生
熊本赤十字病院
総合内科 部長

パネリスト



松本 卓二 先生
野上厚生総合病院
整形外科 診療部長



谷口 英喜 先生
済生会横浜市東部病院
患者支援センター長



浅岡 大介 先生
順天堂大学医学部附属
順天堂東京江東高齢者医療センター
消化器内科 科長／先任准教授

立ち上げ、漢方治療も組み入れたいと思っています。円滑に運用するためのご助言をお願いします。

谷口 当院では、漢方薬による介入も含めて包括的に栄養介入をすることを主治医が申し込むシステムにしています。栄養介入の方法について、栄養剤や漢方薬の使用などの方法は私どもにお任せいただいています。外来の立ち上げに際して、自由裁量で介入することの契約をしっかりとしておくことと、いつの時点で受診していただくか、たとえば手術の2週間前、あるいは化学療法開始時などを病院の約束事にすればよいと思います。

フレイルがかなり進行した症例は
人參養栄湯のレスポンド

乾 浅岡先生には低栄養の高齢患者さんに人參養栄湯による治療介入の成績をご紹介いただきました。多くの患者さんは人參養栄湯を長期間にわたって服用されていますが、先生のご経験で人參養栄湯のレスポンスが悪い患者さんはいらっしゃいますか。

浅岡 食欲が極端に低下している患者さんや、体重減少も伴ってフレイルがかなり進行しているような患者さんには人參養栄湯は比較的効いている印象があります。逆に、BMIはさほど低くもなく、「食欲がない」「何となくだるい」と訴えられるような患者さんは、比較的レスポンスが悪いという印象があります。

フロア 人參養栄湯の服用で体重が増加した方のその後の経過はいかがでしたか。

浅岡 たとえば、ご紹介した症例3は人參養栄湯が“助けになった”“手放せない”とおっしゃるくらい気に入られています。体重は減少から増加に転じましたが、若干の増加はあったもののその後は大きな変化はなく経過しています。

人參養栄湯は呼吸困難感にも有効の可能性

フロア 人參養栄湯の服用で肺機能が著明に改善した高齢患者さんを経験しています。たとえば、息切れなどの呼吸器症状が改善したことがフレイルの改善につながったというようなご印象はありますか。

相良 COPD患者さんに人參養栄湯を投与することでフレイルは改善してきますし、食欲は亢進し、動けるようにはなってきますから、呼吸困難感はかなり改善されているのではないかと考えています。

加島 重症COPDや肺疾患でなくても呼吸困難感が強い方、もしくは心不全があって不安障害があるような方々の食欲不振などには、人參養栄湯のレスポンドが比較的多いような印象があります。

乾 人參養栄湯は「肺」に対する効能を有しています。また、90歳超で在宅酸素療法を受けている患者さんに人參養栄湯を投与したところ、“調子が良い”とおっしゃっています。

フロア 高齢者で排尿障害の訴えがあれば八味地黄丸、便秘の場合は防風通聖散を用いて、さらに体力の低下があれば人參養栄湯を併用していますが、漢方薬の併用についてのご意見をお聞かせください。また、高齢者の排尿障害にもご注目いただいたご検討をお願いいたします。

浅岡 ご紹介いただいた漢方薬の併用については問題ないと思います。排尿障害については、“ウロフレイル”という言葉があるように、泌尿器疾患と全身症状との関連は私も日常診療で実感しているところであり、検討が必要だと思います。

乾 フロアの先生方からの貴重なご意見は大変参考になりました。以上で総合討論を終了いたします。